

副会長基本方針

気高き次世代育成実践室兼東エリア担当

副会長 鴨志田 聡

現在、青少年が犯罪に巻き込まれる事件が毎日のように報道されています。私たちが育った時代であれば青少年は被害を受ける側、つまり被害者であることのほうが圧倒的に多かったのではないのでしょうか。しかし、現在においては彼等自身が凶悪事件を起こしてしまう、つまり加害者になってしまうことが珍しいことではなくなっていました。彼等の心の中で何が変わったのでしょうか。それは彼等だけに原因があるのでしょうか。

青少年の心の問題や、彼らを取り巻く生活環境、教育環境の変化や悪化は大人側の社会問題の反映です。つまり、社会の責任世代である大人の責任であり、我々ＪＣの役割も大きなものになってきます。今、失われつつある子供の頃にあたりまえの事として教えられた倫理観や道徳心、相手の気持ちを知り相手の立場に立って考え行動する思いやりの心、親や教師などの目上の人間を尊敬する気持ちなど、日本人の古き良き精神性を、我々が青少年に対し正しく伝えていかなければなりません。そのためにはまず、我々自身が志高く誇り高く己を律する行動をとり、大人として人間としての在り方を見直し、目標とされる魅力ある大人になることが必要ではないのでしょうか。その上で青少年自身が経験や体験を通じ、成長に応じて社会のルールを理解していくこと、挑戦と試行錯誤の過程を経つつ、自己選択、自己責任、人と人の繋がり、様々なかかわりの中で自己実現を果たすことの大切さや、すばらしさを感じ取れる事業を展開していかなければなりません。我々は、次世代を健全育成するために、道徳心や倫理観を取り戻すための事業、OMOIYARI運動、環境教育の実践を通じ、正しい道を青少年に示したいと考えております。またＪＣだけでなく、学校が、家庭が、地域が連携を図り、青少年を健全育成することができる地域環境づくりを目指します。

最後になりましたが、担当させていただく東エリアの５ＬＯＭの皆様と深い連携を図り、ブロック協議会としてしっかりと情報の発信、意見集約を図り、バランスの良い協議会運営をしてみたいと考えております。さらに、茨城ブロック協議会のスケールメリットを最大限に活かし、真の価値観を持つ次世代を育成し、気高き日本の創造を実践することを方針といたします。

。己を律し志し高く、明るい豊かな社会、明るい豊かな茨城を創造を実現する

又、彼らばかりではなく、